

令和5年度ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(東北メディカル・メガバンク計画 (岩手医科大学))
中間評価 評価コメント

No.	評価課題名	補助事業 代表者名	所属機関	役職
000-002	東北メディカル・メガバンク計画 (岩手医科大学)	佐々木 真理	岩手医科大学	教授

【評価コメント】

事業計画は順調に進んでおり、コホート調査、複合バイオバンクの整備と充実、エピゲノムデータベースとして貴重な iMETHYL の構築・運用を始めとした試料と情報の利活用の促進等、各課題について着実に成果が得られている。Polygenic risk score を用いた多因子疾患のリスク回付方法の確立に向けた先駆的な取り組みは個別化医療に貢献するものとして評価できる。また、岩手医科大学発のベンチャー企業（エピクロノス株式会社）の設立も事業成果の社会実装を目指す取り組みとして評価できる。

第3段階の残りの期間においては、全体計画で定めた目標の達成を目指すとともに、東北メディカル・メガバンク機構との更なる連携、産学連携等の外部連携を強化し、かつ IMM 独自の特徴を活かし戦略的な知財取得やスタートアップの継続的な起業が実現できるような拠点作りに取り組んでいただきたい。また、第3段階以降の運営について戦略を明確化し、国の支援が必要な部分と自立部分をさらに検討していただきたい。